

清瀬市体罰根絶宣言

部活動は、教育課程外の教育活動として定着してきた価値ある学校文化です。

努力の尊さや協力の精神、思いやりの心、自主性や社会性を育てることができます。また、一つのことを徹底して取り組んだり、試行錯誤、紆余曲折、難行苦行を重ねながらそれを乗り越えたりする力も育むこともできます。そして、これらの体験を通して心から話し合える友達、先輩・後輩の上下関係、そして顧問の先生との絆など、未来を生きる子供たちに不可欠となる豊かな人間性も育むことができます。

しかし、部活動の価値が一層認められる時代にあっても、なお全国的に教職員による体罰が相次いでいることは、大変残念でなりません。

体罰は「教育の名を借りた犯罪行為」であり、暴言についても子供の心に生涯の傷を負わせる「精神的暴力」として何があっても許されない行為です。子供たちの人格形成に直接関わるという重大な職務を担う教育職員には、強い使命感とともに高い倫理性が求められます。子供たちは、常に教師の姿を見て成長し、保護者や地域の方々もその言動に大きな関心を寄せているのです。

真なる教育者としての確かな指導力を身に付けるとともに、自らの人権感覚をさらに高めていくことは、私たち教育に関わる全ての者の責務に他なりません。

今後、教育に携わるすべての者が初心に立ち返り、日々の教育活動に熱意と愛情をもってまい進することこそが、教育への信頼回復と、健やかで心豊かな子供たちを育てることと信じて疑いません。

清瀬市教育委員会は、子供の命や安全・安心を守るために、体罰（暴言を含む）に対して毅然とした対応をとり、教育界から根絶させることを改めてここに宣言します。

令和2年10月

清瀬市教育委員会